

【きつとね！ 米沢のりひさ まちづくり報告会】

2023.7.24 ホテル日航ノースランド帯広

～市長講演要旨～

皆さん、こんばんわ。

大勢の皆様にお越しいただき、誠にありがとうございます。

今回のタイトルは、

「フードバレーとかち～ポストコロナ～」とさせていただきます。

「ポストコロナとは何だろう」ということについて、私なりの思いをお話しさせていただき、その後、最近の主なトピックをご紹介させていただきながら、コロナ後のまちづくりに対する思いをお伝えできればと思っております。

感染症の流行は、経済活動、人々の暮らし方に様々な変化をもたらしましたが、今、コロナ禍、ウクライナ情勢での食料、それからエネルギーの問題、そこにデジタル化といった課題が改めて浮き彫りになっていると思います。今、国全体でそれに対する対策を考え、または実行しているというところであります。

また、SDGsという言葉をお耳にしていると思いますが、これからは経済発展だけではなくて、環境そして社会が抱える問題、これらにバランスよく取り組みながら、互いに新しい価値を生み出していく、これが以前にも増して大切になってきていると考えています。

十勝・帯広の食、農業、そして豊かな自然環境というのは、これからも世界が直面する色々な課題に貢献することができる。この貢献できるという、このポジショニングが非常に重要だと思っております。

そのために、私は十勝の存在感をこれからも時代に即応していくように提示をしていく、そういう活動を皆さんと一緒にしていきたいと思っております。

今後も地域の新たな価値づくり、そして持続可能な社会づくりをしっかりと進めてまいりたいと思います。



フードバレーとかち

進化論（チャールズ・ダーウィン）

**強い者/賢い者が生き残るのではない
変化できる者が生き残るのだ**

→生物学的進化とは 賢くなることでも身体
の能力が高まることでもない。
ただ生き残りに有利な姿に
適応した結果をさす

→問題は環境が激変する時、
危機とは正に そのような時！！

2

ダーウィンが「進化論」を唱え、その中でこう言っています。

「強いもの/賢いものが生き残るのではない、変化できるものが生き残るのだ」これはその通りで、ちゃんと変化して頑張っていかなければ駄目だよと言っていると思いますが、先般、ある雑誌を見ていたら、同じことをこう書いていました。「生物学的進化というのは、賢くなることでも身体的能力が高まることで


もない。ただ生き残りに有利な姿に適應した結果をさす」読んで「ん？」少しニュアンスが違うような気がしました。

問題は、環境が激変する時なのだろうと思います。

変化の前に強みだと思っていたことが、変化の後には弱みになるのではないか、そんな可能性もあるのだと言いたいのかも。これが賢いやり方だと思っていたことが、ある大きな変化を通り過ぎたタイミングでは、それは案外愚かしいことだったのではないかと、もしかしたらこんなことを言っているのではないかなと思いました。

問題は、環境が激変する時です。

危機というのは正にそのような時の事を言うのだと思います。危機（CRISIS）クライシスと言いますが、分けるとか決める、区別する、転換点の事をクライシスと言うそうです。

 **危機（CRISIS）**

= 正念場、
その瞬間の前と後では、
他の瞬間の前後よりも
はるかに大きな違いのある 転換期

これから起きる社会現象/経済現象に
如何に対処していくのか
今が その正念場

3

最近、皆さんが良く使う言葉ですが、「正念場」。この「正念場」をある人がこう言っています。

「その瞬間の前と後では、他の瞬間の前後よりもはるかに大きい違いがある転換点の事。」これはジャレド・ダイヤモンド（アメリカ人）という人の言葉であります。

このコロナの間にたくさん本を書いています。非常に面白いことを言っている

人ですが、この「正念場」、「危機」について、今みたいなことを言っています。

コロナ危機という言葉を使いますが、実はコロナの感染拡大を止めると言うことは、疫学上のプロセスに過ぎないのではと思います。

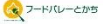
これから起こる大きな社会現象や経済現象に、我々はどうやって対処していくのかということを考えるのが、「正念場」なんだと思います。

危機と書いて、「危機」の「危」は危険の意味ですが、もうひとつの「機」は機会と読めると思います。

そうすると、「危険だ、危険だ」というのと、もうひとつ「チャンスだ、チャンスだ」ということの組み合わせにも読めるのではないかと考えております。

繰り返しますが、今が「正念場」ということは、SIEMENS の社長が 5~6 年前に言っていた、「危機的状況というのは、

何かを変えなければいけないかと、何かを変えなければいけないのかということを見極めるいい機会である」という言葉であります。私はなるほどと思っています。

 **（危：危険） + （機：機会）**

「危機的状況というのは、
何を変えなければならないのかを
見極める機会でもある」

（SIEMENS 社長）

「危機は良き友 時間はライバル」

（ルイス・ガースナー）

4


そして、今一番大変な時ですが、何を変えなければいけないのかということ、本当にみんな考えているだろうか。5月以降、実はホテルも飲食店も数字が上がっています。みんな「良かった」と元に戻っているのではない。でも、我々が気を付けなければいけないのが、今、何が起きているのだろう、今まで危機だと散々言っていたのに、では、何を変えたらいいのだろう、何を変えようと我々は思っていたのだろうと、今真剣に考えなければならないタイミングなのではないかと感じています。

私、帯広市政をお預かりしており、現在13年目ですが、今、今までで一番ものを考えなければならないタイミングなのだと自分では感じています。

IBMの元社長でルイス・ガースナー、一番優秀だと言われている社長ですが、彼がこのよ

うな言葉を残しています。

「危機は良き友 時間はライバル」。これもなかなか深いなと思います。今、私にとりまして4期目でございますが、時間はライバルです。残っている時間はそんなに多くありません。または、変えなくてはならないタイミングも、そんなにゆっくり待って欲しくないと思っていますので、そういう面でも今、頑張らなければいけない「正念場」なのだと感じているところです。

 フードバレーこち

パンデミック後の成長分野

- ① **ヘルスケア(健康) × デジタル**
- ② **食料(農業、国土保全、商取引の見直し)**
- ③ **住宅**
- ④ **文化**
- ⑤ **教育**

願わくは、人類がより賢く、社会正義に敏感で、より自由で、そして、将来世代の行く末に思いを馳せるようになってほしい (ジャック・アタリ)

5

パンデミック後の成長分野を見つけるために、いろんなものに当たってみました。ジャック・アタリというフランスの経済学者がいます。ミッテラン大統領以降の大統領すべての顧問を担っている人で、彼がいろんな本を書いておりますが、「命の経済」という本のタイトルでこんな事を言っています。

「新しいこれからの成長分野というのは、やっぱりヘルスケア、健康だ

ろう。」これは医療とは言っていないのです。健康を維持することの方が、医療費の削減になるということを彼は言っています。このヘルスケアの分野にデジタルの知識、技術をどう掛け合わせていくかというのが一つ目。それから、食料の分野だろう。それで農業と国土保全、そして商取引というものの見直しが新しい成長分野になるのではないかと。

そして皆さんの生活、ライフパターンが変わるということで、住宅に対する見方も変わる。住宅に対しての技術も変わってくるだろう、そして文化・教育と繋がっています。

彼の言葉でこんなことも書いていました。「願わくは、人類がより賢く、社会正義に敏感でより自由で、そして、将来世代の行く末に思いを馳せるようになってほしい」と。こう言われた瞬間に、市長の仕事もこれと同じレベルで考えなくてはならないと思いました。

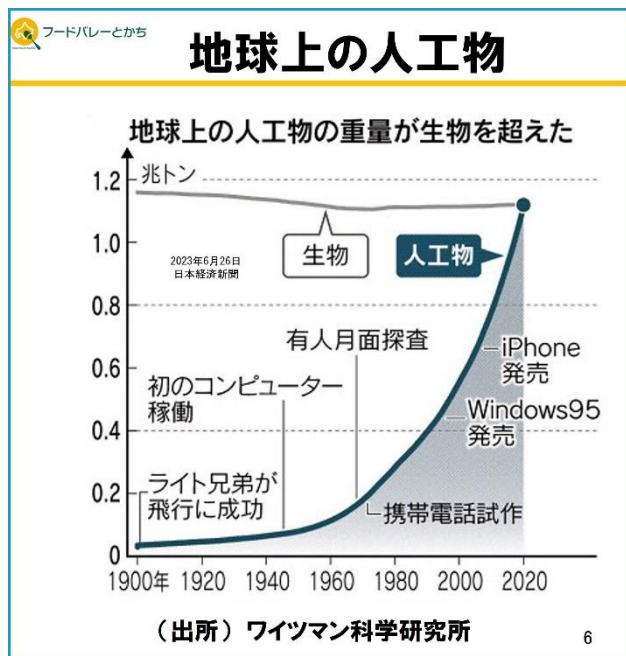
最近エシック消費という言葉が、賢い消費と訳され使われています。

エシックというのは、道徳とか倫理という意味で、生きるという事をみんなが真剣に考えたときに、いろんなものに対するアプローチが変わるということを行っているのですが、それも自由に考えよう。そして自分たちの世代だけではなくて、将来世代の行く末により思いを

馳せられる、そういう社会をつくれと言われておりました。

以上、現状に対しての私の問題意識を最初にお話しさせていただきました。

ここからは、最近ですが本屋で見つたり、マスコミや報道で見たいくつかのデータをご覧いただければと思います。



2020年に、人工物の総量が自然物の総量を超えたそうです。これって結構迫力のある話で、図が示すように生物の総重量よりも、我々が生み出した人工物の総量が増えてしまった。

これは、イスラエルのワイツマン科学研究所が、ネイチャーという雑誌に発表した数字です。私はこれを見たときに、ソクッとなりました。よくロボットに支配されるのではないとか色々な事が言われますが、物の量の重さの方が、生き物より多くなった時代に、我々ついに入ったぞというような図であります。

それから次であります、今年3月にアメリカのゴールドマン・サックスが、AI人工知能によって3億人分のフルタイムの仕事がアメリカで無くなると言っています。

事務関連でいうと45%が置き換わる。難しい仕事だと言われていた法務の仕事についても、40数%が無くなる。全産業で30%弱がAIなどに置き換わっていくというのがこの図であります。

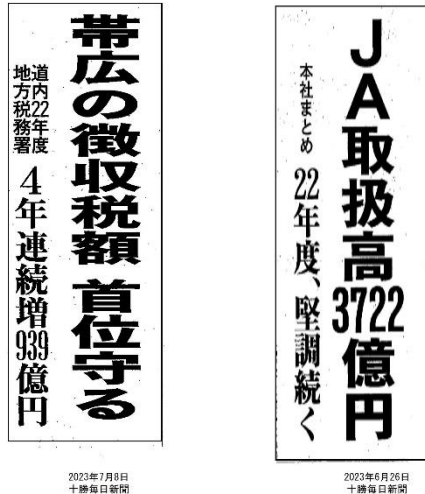
先般、札幌で北大の先生たちと話す機会があり、学長もおられたのですが、その時に出てきた言葉で私にも分かりやすかった言葉をご紹介します。

「AIっていうのは、高速道路だよな」と言っている方がいました。何かと思っていたら、「目的地には早く到着するけれども、途中の風景、景色ってあまり覚えていないだろう。昔は高速道路が無かったから、両サイド見ながら走って行って目的地まで行っていた。今高速道路はそんなことないよな、すぐ着くけど、もし途中でおかしくなって降りたときにどうやって行っていいかわからないだろう。今AIの世界って実はどんどん速くできるが、途中がわからないから、それに対して何か問題が起きたときにどう対処するかってことは、これまでとは全く違った対処方法しかない。もしかしたら対処できないかもしれない」とお話しされていました。



我々はそういう世界に入ってしまったというところを皆さんと共有したくて、何枚かデータをお見せしたところです。

確かな産業基盤、存在感



「確かな産業基盤、存在感」と書きましたが、帯広の徴収税額が札幌以外で4年連続首位です。帯広税務署と池田税務署を足したら全道で、札幌市以外で2番目です。やはり十勝の税収というのは凄いです。

それからJAの取扱高が3,722億円。これは皆さんご存じの通りです。

十勝農業のポジション

都道府県	農業産出額(億円)	【東北海道】
1 北海道	13,108	7,367億円 道内シェア 約6割
2 鹿児島県	4,997	
3 茨城県	4,263	
4 宮崎県	3,478	【十勝】(JA取扱高 概算) 3,735億円 道内シェア 約3割
5 熊本県	3,477	
6 千葉県	3,471	
7 青森県	3,277	
8 愛知県	2,922	
9 栃木県	2,693	
10 岩手県	2,651	

出典：農林水産省「令和3年度農業産出額及び生産農業所得(都道府県別、市町村別)」

この数字は如何でしょうか。

北海道が1兆3千億円で、鹿児島県、茨城県と続きますが、十勝は3,735億円でありますから4番目のところに位置するのですが、もう一つ凄いなというのが、東北海道という括りでご覧になっていただけたらもっと凄い数字で、7,367億円です。

これは北海道の1兆3千億円の6割に当たります。東北海道を一つのエリアとして見たらどうでしょうか。たぶん北海道を抜いて第1位になるということですから、十勝農業のポジショニング、それから東北海道の農業のポジショニング、存在感というのを皆さんともう一度確認したいと思います。

住みよさランキング 帯広 全道一

ねとらぼ調査隊
「北海道イケてると思う街ランキング」

順位	都市	票数
1	帯広市	83
2	旭川市	45
3	函館市	45
4	釧路市	36
5	札幌市中央区	30
6	北見市	26
7	苫小牧市	23
8	千歳市	19
9	江別市	16
10	北広島市	14

(2023.3.15 公開)



「住みよさランキング」であります。ねとらぼの調査であります、「北海道でイケてると思う街ランキング」というのがあります。

帯広市の票数が83票で、旭川市は45票で、函館市も45票です。ほぼ倍です。実は11位から20位までというのがありますが、そこに音更町、そして芽室町、その次には幕別町が入ってきてましてそこを足すだけでダントツの1位になってしまう。これはネット

ト関係のところですから、若い方達が入れている票だと思います。

それから、その右側「住みよさ」ランキング、帯広が全道1位になりました。買い物、

飲食店というところで点数が高いですが、子育ては低評価。帯広市は医療費を全部無料にしますよとか言わないものですから、点数がそこだけガッと落ちているわけですが、それでも全道 1 位になるというところをご理解いただけたらと思います。

次のページからは、この半年のトピックです。



環境事務次官和田さんであります。新春対談をさせていただき、帯広市の1月の広報誌に出させていただきました。

対談の中で、私が喜びことを言ってくれたことをここでご紹介いたします。

何と、「フードバレー構想は正にSDGs を先取りした取り組みだったですよ、13年経ってやっとわかったでしょう。」と言っていました。

それから、「帯広市の第7期総合計画も、実は市長と会うので読みました。これもいいですね。」と言っていました。

サーキュラーエコノミー（循環経済）と言いますが、循環型の経済を帯広のみならず十勝全体で狙える非常にユニークな地域ではないかとも言っていました。

ゼロカーボンのお話もさせていただきましたし、非常にありがたい話だなと思っています。(サーキュラーエコノミーとは <https://00m.in/10Hte>)

次は、パートナーシップ制度、これも私は画期的だなと思います。

この制度をきっかけに多様な性について理解が深まることを願っております。

10万人以上いる市はほとんどパートナーシップ制度を導入します。

そうすると引っ越しをしたときに手続きがものすごく楽になります。札幌市以外、旭川市もみんなやっています。

とりあえず大きな市は北見市もそうですが、パートナーシップ制度というのを入れる形になると認識しております。



動物園ビジターセンター 寄附受納式 (2023/1/12)



13

動物園を回ったときに「ここにしようか」と一言言っていたので、このビジターセンターの工事をしているところです。

大変ありがたいなと思っております。

それだけではなく、匿名でやはり動物園に寄附をいただいた方もおありまして、その方たちのお気持ちで、お母さんと一緒に休んでもらえる場所や、綺麗なトイレとかそういうものを今年これに合わせて作っていく。本当にありがたい寄附だなと思っております。

それから「馬ふれあい舎」を整備します。これも今工事中であります。

やはり帯広の歴史の中で、馬との接点は大きいので、これを動物園の中に作ろうということで今動いているところです。

次は動物園の話、ビジターセンターの寄附をいただいたところでありませ

す。
(株)福原の福原会長との写真が載っていますが、帯広動物園は、今年で60周年の節目を迎えました。

そのタイミングで、福原さんに「何か困っていることはないか、ちょうど今なら寄附できるよ」と言っていました。

色々な所を見たのですが、一緒に動

馬ふれあい舎の整備 ※イメージ図



14

故 田本憲吾 第六代市長 お別れの会 (2023/4/28)



15

帯広市をいい街にしていきたいと誓ったところです。

次は4月ですが、田本大先輩が亡くなられました。

本当に残念だと思いますし、寂しくありました。

私が最初の選挙を138票差で市長になって初めてご挨拶をしたときに、「俺も少しだったんだ」と言って「頑張れよ」という言葉を言っていたのを今でも忘れられません。

こうやって少しずつ大先輩が居られなくなっていきますが、しっかりと

川西IC周辺 土地利用の動き



これは、皆さんよくご存じですが、川西インターチェンジ周辺の土地利用をしようということで、当初 16 ヘクタールを、農村産業法を活用してインターチェンジの周りに物流に関わっての新しい集積地を作ろうという話であります。

先般も商工会議所または商工会の皆さんが集まって、この動きに対してみんなで応援しようと声を上げていただいて、大変ありがたく感じているところです。

まだまだこれからというところではありますが、十勝のステージを一つ上げることに関わって、このプロジェクトは鍵になると思います。

次に、「ひろびろチョイス」運用スタートでございますが、7月18日の朝5時半のNHKの番組をかけたら、この帯広の「ひろびろチョイス」のご紹介をさせていただいていました。

不登校の子供たちの居場所や、アクセスルートをきちんと作ろうと、そのためにこの新しい技術を使っていこうという取り組みではありますが、しっかりとやっていく手ごたえを今我々は感じているところです。

これが我々のところで出来ましたら、次から次へと広がっていけると楽しみにしているところです。あとは母子手帳アプリや、デジタル化というのをどんどん進めているところです。

「ひろびろチョイス」運用スタート (2023/5~)



第23次 帯広市議会の体制が発足 (2023/5/12)



今日も大勢おいでいただきました。第23次の帯広市議会の体制が発足しました。

5月16日には、議長、副議長が選出されました。

今後ともよろしくお願ひ申し上げたいと思います。

北海道市長会 副会長に就任 (2023/5/17)
全国市長会 副会長に就任 (2023/6/7)



次のスライドは、不肖米沢、北海道市長会副会長、全国市長会副会長に選任をいただきました。

2年かつ1年の任期ではありますが、非常に大切な仕事だと思っております。

十勝の声を中央に持っていくひとつのルートになると考え、頑張っていこうと思っております。

「あぐり王国北海道 NEXT」という番組をご存じでしょうか。

これは結構有名で、6月3日と10日に、帯広市の学校給食がHBCの人気番組に登場しました。

大きな反響をいただいたところであります。

「子供たちの記憶に残る給食にしよう。」と言うのが、今私共のキャッチフレーズになっておりまして、色んな皆さんのお力を借りて、給食メニューを開発しております。

そしてそのメニューについて先ほどから言っておりますが、スマホで毎日お母さんたちが「今日うちの子が何を食べたのか」と見えるような形にしております。

あぐり王国北海道NEXT (2023/6月)



ATWS北海道実行委員会総会 (2023/6/6)



「アドベンチャートラベル・ワールドサミット(ATWS)」であります。

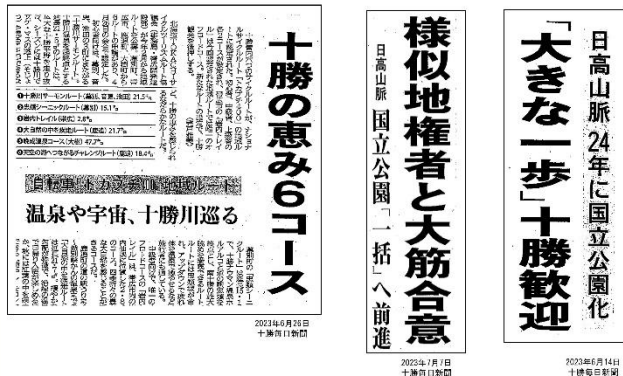
北海道実行委員会総会が6月6日にごさいました。アウトドア活動とか異文化体験をするそういう体験型の観光の一つですが、今年の9月に札幌市で大イベント、世界60か国から色んな方がお集りなります。

その実行委員会の総会に私も参加させてもらいました。

十勝でも大きなイベントがございますので、是非皆さんにもご参加いただければと思います。

このアウトドアが非常に注目されており、日高山脈の国立公園化も重ねて考えていきますと、十勝が正に行き先になるディスティネーションになるのではないかと期待をされることとありますので、このアクティビティもしっかりとやっていきたいと思っております。

日高山脈 2024年内に国立公園化 (2023/6/13)



22

次に日高山脈でございますが、2024年以内に国立公園化されることがほぼ確定いたしました。

これも非常に嬉しかったなと思います。

和田さんが環境省にいる間に決まるという方向ができて本当に良かったと思っております。

前回「トカプチ 400」というサイクルルートのご説明をしましたが、色

んなものがここから1年、2年の間に収斂して、十勝全体の観光の底上げになるのではないかと非常に楽しみにしているところです。

忘れてはいけないのが、この「和牛五輪」であります。先般6月8日に2027年の全国の和牛能力共進会、音更町と帯広市の会場が正式に選定されたという記事であります。

これも大変大きなエポックメイクな出来事だと思っております。ものすごい方たちが十勝においでになります、それをしっかりとマネージして仕上げていかなければならない。もう4年しかありません。

仙台市で行われたとき宮城県は凄く交通の便も良くて地下鉄がありスムーズにいったそうですが、やはり地方でやると交通が色々ネックになります。

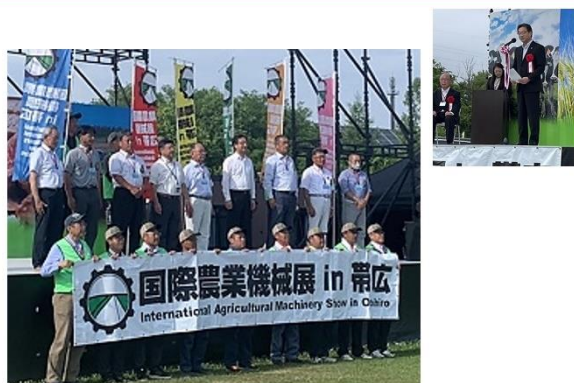
今回の鹿児島で勉強をさせていただいていますが、4年後は同じことがここで起きます。宿泊と移動、これについてできるだけ早く手を打たなければならないと思っております。

2027全国和牛能力共進会 十勝開催決定 (2023/6/8)



23

第35回 国際農業機械展 (2023/7/6~10)



24

「国際農業機械展」先日閉幕いたしました。5年ぶりの開催で、延べ15万5千人の来場がございました。

次は4年後ですから、先ほどの「和牛五輪」と重なります。

私も場内を見て回って、非常に印象に残る省力化、自動化、最新鋭の農業機械。目が点になるほど驚きました。

今回の農機展のサブタイトルは「農業

への挑戦 北の大地から」ということであります。十勝・帯広の農業の力強さだとか先進性、こういうものが基盤となって初めてこのイベントも出来るのだなと改めて感じたところ
です。

農家の高齢化、担い手不足など、色々課題はありますが、今後、十勝は常にファイティングポーズをとって課題を解決していく地域だと、そのように改めて感じ、頑張っていきたい
と思ったところです。

国際的なイベントといえば、本年 11 月に 5 年ぶりにスピードスケートのワールドカップ
が開催されます。先ほど言いました色んなものが満を持して始まりますが、問題は、我々は
従来と同じであってはいけないという問題意識であります。

結びになりますが、これは私 40 代の初めに会った言葉で、ずっとメモを捨てないでノ
ートに書いてある言葉です。

少し生意気ですが「成功する秘訣というのは、しかるべき時に、しかるべき場所にいるこ
と」とこういう言葉があります。

当たり前的事だろうと思うのですが、うまくいった人はよくこういうことを言うのです。
「たまたま俺そこにいたから」、「たまたまあの人と出会って、こういうことを知っていたか
ら」という話になります。

私、まちづくり、特に首長の仕事はこれなのかなと思っております。

つまり、帯広市長の仕事を未来の子供たちから預かっているのだと思います。

その帯広市を彼らが引き継いでくれる時にどんな形の帯広市にしているか、何をやった帯
広市にするのか、何をやらなかった帯広市にするのか、ということが今を生きる私たちの仕
事だと思っております。

そういう意味で冒頭のジャック・アタリが言っている、「次世代の事をしっかり思いを致せ。」
というものと重なるのではないかと思います。

少し古い話になりますが、私がアジアの投資の担当をしていた時にシンガポールによく行
ったのですが、シンガポールで向こうの経営者と話している時に、その国の発展の条件とは
何だろうとなったことがあります。

その時に、こう言いました。

3 つあります。

1 つ目が「社会の安定」、2 つ目が「技術力を高める」、3 つ目は「マネージメントマイ
ンドを持つこと」つまり経営です。経営をする心です。

政治も恐らくマネージメントマインドと重なるところがあるだろうと、特に行政というの
はそういうことなのだろうと。行き当たりばったりではなく、今だけの事じゃなくて先ほど
も言いましたが、「何をやったらいいのだろう」、または「何をやってはいけないのだろう」
そういうことを考えなければいけないと思っております。

一番印象的な言葉です。「存在感のある国にしたい。」とそう言われました。

それは、今そのまま自分に持っているのですが、やはり周りから見て「あそこは無視でき
ないな」何かを話しする時、農業の話をするときに、十勝・帯広は置いていけない、必ずそ
の事は考えなければならない、それから倫理の問題もあります。そういう部分が入ってきて

初めて存在感というのが主張できるのかなと思っております。

先ほどマネージメントマインドと偉そうなことを申しました。

私市長になってからずっと頭の中から外さないことがあります。それは私の仲間はいっぱいいいます、市の職員で。行政とか行政上の会計の仕方も皆よく知っています。私は彼らとやっても太刀打ちできません。

でも私はずっと30年くらい企業経営に携わってきました。その中で、バランスシートと言いますか、貸借対照表とかそういうものばかり睨んできました。

先ほどマネージメントマインドと言いましたが、帯広市の持っている資産で何十年も経っているものを置き換えていかなければならない。それから我々の今の借金構造が正しいかということ。借金は出来るだけ減らそう、それから今ある資産を新しい資産に換えていく。新しいお金を生まない資産は出来るだけ無くしていく。こんな当たり前のことですが、実はそんな事ばかり考えてやってきました。

不要な資産は無くしていく、価値を生まないものは無くしていく、そう考えると不要資産という私が一番最初にやったのは、帯広の河川敷にあったゴルフ場です。閉鎖させていただきました。もしあれが残っていたらコロナの時にどんなことになっていただろうと思うとぞっとしました。

それから空港の民営化です。これももし帯広市が全て抱えていたらどれだけのお金が出ていっただろうと思います。

今日首長の皆さんがおいでです。消防やごみ処理は皆でやった方が効率的ということ。自前主義でいってしまわないこと。こういうこと偉そうですが、私は不要な資産だと、コストの減に繋がるのだと思います。そういうことを一所懸命やってきました。

資産の入れ替えは何をやったかという総合体育館を建て替えました。それから夜間急病センターも建て替えました。バスセンターも建て替えました。それから今動物園も変えています。そしてここに寄附できるものはどんどん寄附をお願いして行って、出来るだけお金かけないようにやっています。

企業なら当たり前にやるのが、私の頭の中のバランスシートで出来ているかどうかということだけをいつもいつも考えているところです。

これで実は結びだったのですが、もう一つおまけがあります。

これは私の本音です。そんなに強い人間でもありませんし、そんなに賢いわけでもありません。私のいくつか持っている尺度の一つです。

それは、浅田次郎。皆さんよくご存じの「鉄道員」とか本を書いています。

これは、直近に出た本の中の一説なのです。

「流浪人道中記」という本で、

「世の中、情と理は裏表だ。道理の通らぬ情にほだされてはならない。情のない理屈を通してならない」。

皆さんから陳情をもらった時に、皆さん「大変だ」と言ってこられるのですが、全部通すだけのお金は無いのです。

そういう時に私はいつもこの言葉を何回も自分の中で思い出します。

道理がない、理のない情にほだされて何かやると、ミスるなど。

でも、情のない理屈だけで何かを言ったら動かないなと思っております。

今日皆さんに最後にこのお話をさせていただいて、これからも帯広市長として誠心誠意、まちの経営に携わっていきたいと思っております。

これからも皆さんのご支援をいただきながら、頑張っってやっていきたいと思ひます。

ご清聴ありがとうございました。